

# [行政]課 経 営 計 画 書 ( 総 括 表 )

## ■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H29 年度計画額 (単位 : 千円)		H29 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	法制執務事務事業	B	8,909	0	0.9	0
2	情報公開・個人情報保護・文書 管理事業	B	900	0	0.4	0
3	非核平和推進事業	B	791	0	0.2	0
4	行政対応事務事業	B	16,533	103	1.1	0.3
5	設計・契約等適正化事業	B	104	0	1.0	0
6	財産管理事業	A	56,388	1,159	1.0	0.1
7	公用車管理事業	B	16,144	0	0.5	0.3
8	庁内LANシステム運用事業	B	18,130	0	0.4	0
9	電子計算運用事業	A	123,873	0	0.6	0
10	選挙管理委員会事業	B	518	2	0.3	0
11	各選挙事業	B	12,252	0	1.0	0.2
12	統計事業	B	624	606	0.5	0.1
13	土地取得特別会計事業	B	47,983	47,983	0.1	0
合 計			303,149	49,853	8.0	1.0

## ■特記事項

--

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	1
事業名	法制執務事務事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	法規等に係る事務を適切に行うことで町行政運営の維持向上に努める。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例規審査会の開催</li> <li>・ 例規審査会事前内容確認</li> <li>・ 法規等追録</li> <li>・ 例規集追録</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法令、例規システム管理等</li> <li>・ 告示、公告事務</li> </ul>
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法律の改正が多く行われ、それに伴う条例等の改正を必要とする件数が増加している。</li> <li>2 加除式図書の利用状況を確認し、見直しを行う必要がある。</li> </ol>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法令の改廃や例規整備に関する情報収集サービス等を活用し、各課担当職員への情報提供を充実させ、遺漏なく例規の制定、改廃を行う。</li> <li>2 加除式図書の利用状況を確認し、インターネット情報サービス（判例システムD1-Low等）の活用を提案し、必要なものと代替えがきくものとを精査し、追録費の削減に努める。</li> </ol>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	加除式出版書籍の見直し
5	例規審査会
8	例規審査会 例規集の追録
11	例規審査会
2	例規審査会 例規集の追録
随時	例規システム内容更新

### □3 年間の目標

目標	.					
項目(単位)	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	7,876	8,623	8,909
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.9
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.5	0.5	0.9

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

### ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
例規システム使用料	1,556	260	LGWAN 対応に伴う増

## ■ 特記事項

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

有効活用が見込める情報収集サービスについて、昨年度に引き続き関係各課に周知した。  
要綱について、方針や考え方を整理してから文法的な整備を行う手順の周知に努めた。

## ■ 評価

法令改正による本町例規等への影響について適宜所管課に情報提供を行い、また、事業実施等に係る例規類の整備について随時所管課と調整を図り、適正な法制執務事務の執行に努めた。

法改正等に起因する複雑かつ多岐にわたる税関係・人事給与関係の例規整備については、制度を熟知している担当課と例規整備に長けている例規担当とが協力することで、遅滞なく適切な対応を行う事ができた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	2
事業名	情報公開・個人情報保護・文書管理事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策	3-2	情報公開・個人情報保護
目的	<p>情報公開により町民の町政に対する理解と信頼を深め、参加を促進する。</p> <p>個人情報について、その利用が著しく拡大していることを鑑み、各課職員に情報の適正な取扱いをするよう注意喚起を促すとともに、町の実施機関が保有する個人情報の開示、訂正等を請求する権利を明らかにすることにより、個人の権利利益を保護し町政の公正で適正な運営を図る。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報公開・個人情報保護審査会事務局</li> <li>・ 情報公開・個人情報・特定個人情報事務手続き</li> <li>・ 公文書回収運搬（機密文書溶解廃棄）</li> <li>・ 永年・10年保存文書管理</li> <li>・ 文書管理システムの管理運営</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<p>文書保管庫（北倉庫）の保管スペースの確保、保管環境の整備について、引き続き検討を要する。</p> <p>文書管理システムの効用（保管庫としての省スペース化と文書探索の省力化など）が十分に発揮できていない。</p> <p>番号法の施行に伴い、情報公開・個人情報保護に加え、特定個人情報保護制度の適正な運用が求められる。</p>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>保存文書の点検・整理や保管物品の移動等による、既設倉庫の物理的なスペース確保を図る。</p> <p>文書管理システムの検証作業を実施しており、その結果から、より有効なシステムへの更新もしくは再構築を検討する。それに併せて、過去の保存文書のデータ化、文書（公文書、歴史的資料）の保存基準・方法、それに適った文書管理方法についても検討を進める。</p> <p>町の保有する個人情報・特定個人情報について、制度の目的に即した適切な判断に基づく、情報公開及び個人情報、特定個人情報保護を行う。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4～	文書管理の基準・方法等の再構築検討
9～	文書管理システムの更新検討
11～	機密文書の廃棄

### □3 年間の目標

目標	.					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	747	900	900
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.4
	臨時職員	人工	0	0.2	0
	計	人工	0.3	0.5	0.4

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
合計		

### ■平成 29 年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

## ■ 特記事項

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

個人情報の開示請求に関する対応について、所管課と協力し、制度運用としての情報提供を行う事で適切な対応となるよう努めた。

倉庫の整理を行い、一部の保管文書について北倉庫から移動することで、保管スペースの確保に努めた。

## ■ 評価

情報公開制度の運用、自己情報の開示請求等、制度の適正な運用を行った。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	3
事業名	非核平和推進事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	3-2	平和行政
目的	昭和60年9月に行った「非核平和宣言」にもとづき、恒久平和と核兵器の廃絶を訴えるとともに、平和意識の高揚を図るため、各種啓発、催事等を実施する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島長崎原爆パネル展の開催</li> <li>・中学生の広島平和記念式典への派遣</li> <li>・大口町平和祈念式の開催</li> </ul>		
現在における経過又は課題	昭和60年9月に非核平和宣言をして以降、大口町が積み重ねてきた非核平和の取り組みの継続と啓発が必要である。		
平成29年度の目標又は改善策	<p>核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の大切さを改めて考える機会として、前年度に引き続き、「非核平和パネル展の開催」、「広島平和記念式典への大口中学校2年生の派遣」、「平和祈念式の開催」を実施する。</p> <p>世界、国内各都市の非核及び平和行政の動きを注視するとともに、核兵器廃絶に向けた意識喚起等に連帯して取り組む。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
7	<p>パネル展の開催</p> <p>核兵器廃絶あいち平和行進が来庁</p> <p>広島派遣中学生結団式及び研修会</p>
8	<p>広島平和記念式典に中学生派遣</p> <p>大口町平和祈念式（中学生の派遣報告など）</p>
10	<p>県内被爆者行脚（愛友会）が来庁</p>

### □3 年間の目標

目標	.					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	858	876	791
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.3	0.2	0.2
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.3	0.2	0.2

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
合計		

### ■平成 29 年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

## ■ 特記事項

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・ 日本非核宣言自治体協議会から写真パネルを借用し、「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展（7月15日～7月27日）」を開催した。
- ・ 大口中学校2年生の代表12名を広島市に派遣し、在校生や町民から託された千羽鶴を携え、「広島平和記念式典（8月6日）」に参列した。
- ・ 大口町平和祈念式（8月22日）を開催し、先人への黙とう、中学生からの広島派遣報告、献花、「私たちの平和宣言」などを行った。

## ■ 評価

戦争が終結してから72年が経過し、戦争の悲惨さ、恐ろしさの記憶が薄れつつある中、昭和60年に非核平和宣言を行った本町では、非核平和推進事業を通して核兵器の廃絶と恒久平和の実現を訴え続けている。

中学生の広島派遣では、原爆投下地へ赴き、被爆者の体験談を聞き、そこで、学び、感じたことを大口町平和祈念式で発表している。また、中学生の想いが込められた作文は、原爆写真パネル展で掲示し、多くの町民の方々の目に触れる。こうした個々の取り組みが連関し、大口町における平和学習の推進、平和意識の向上に結びついていることから、今後も着実な継続を図っていきたい。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	4
事業名	行政対応事務事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	郵便管理業務等の行政事務の円滑な運用を図る。 住民の窓口ともなる宿日直業務の管理運営 固定資産評価審査委員会、行政不服審査会の運営 指定管理者選定審議会・指定管理者評価委員会の運営		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定資産評価審査委員会</li> <li>・ 指定管理者選定審議会、指定管理者評価委員会</li> <li>・ 行政不服審査会</li> <li>・ 新聞購読、在庫消耗品管理</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郵便管理業務</li> <li>・ 宿日直、法律相談委託業務</li> <li>・ 町名案内板管理</li> <li>・ 自衛官募集事務</li> </ul>		
現在における経過又は課題	行政不服審査法に基づく審査請求、固定資産評価に対する審査請求に対し、迅速・適正な審査に臨める体制維持が必要である。 指定管理を行っている1施設について、事業計画に即した適正な運営がされているか、中間評価を行う年度を迎える。		
平成29年度の目標又は改善策	大口町スポーツ施設及び温水プールの指定管理者について、指定管理者評価委員会による中間評価を実施し、いっそうの住民サービス向上、経費の効率化等、改善を促す。		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
7～	第1回評価委員会
8	第2回評価委員会

### □3 年間の目標

目標	.					
項目(単位)	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

### ■事業コスト

		単位	H27 度決算額	H28 度当初予算額	H29 度計画額
事業費		千円	20,758	15,493	16,533
(内特定財源)		千円	102	101	104
人工	職員	人工	1.0	0.7	1.1
	臨時職員	人工	0	1.7	0.3
	計	人工	1.0	2.4	1.4

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
自衛官募集事務市町村委託金	40	
県証紙売捌手数料	63	
申告等の共同送付に伴う送達料負担金	1	
合計	104	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
公の施設指定管理者評価委員会委員	101	101	スポーツ施設及び温水プール指定管理者の中間評価
宿日直業務委託料	6,410	856	宿日直業務委託に係る積算単価の見直し

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

電話交換業務については、ダイヤルインの定着に伴い、特に本業務を主とする臨時職員の配置をやめ、行政課職員全員で適切・迅速な電話対応を図った。当該職員の不在時や同時着信時は、隣接するまちづくり推進室に協力を依頼することで対応した。

## ■評価

大口町スポーツ施設及び温水プールの指定管理者について、指定管理者評価委員会による中間評価を実施し、改善を促すことができた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	5
事業名	設計・契約等適正化事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	各種案件の設計審査、入札、検査等及び入札参加資格に関する適正な執行を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加資格審査業務</li> <li>・設計内容の審査、業者選定、入札・契約・検査に関する業務</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<p>国、県が進める総合評価落札方式を指名競争入札及び制限付一般競争入札にて実施したが、総合評価落札方式によるメリットについて、十分な検証をするまでに至っていない。</p> <p>総合評価による評価項目に、地域貢献度（ボランティア活動実績・災害協定等に基づく実績等）や技術力（技術者の資格等）を設けており、施工業者の地域貢献及び技術力等の向上を目的とし、総合評価落札方式を試行し、検証を行う。</p>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>平成23、24年度は土木工事、平成25年度は建築工事、平成26年度は土木工事にて一般競争入札による総合評価を施行したが、平成27・28年は施工時期、期間等により未実施であったが、平成29年度においては土木工事にて試行し、検証を行う。</p> <p>また、総合評価による評価項目に、地域貢献（ボランティア活動実績・災害協定等に基づく実績等）や技術力（技術者の資格等）を設ける他に、建設業就業者の高齢化が進んでいるため、若手技術者の新規雇用等や災害時を想定した評価項目を検討し、設けることで、他市町業者も含め、地域貢献及び技術力等の向上とともに、建設産業の持続や継続的に災害に対する意識づけを行なっていくよう、総合評価落札方式を試行し、検証を行う。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	【総合評価】
3	対象工事の選定、担当課と協議
4～	指名審査委員会にて協議・審査 愛知県建設部評価審査委員会へ諮問・公告・入札

### □3 年間の目標

目標	.					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	91	104	104
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工	1.0	1.0	1.0
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	1.0	1.0	1.0

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
合計		

### ■平成 29 年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

## ■ 特記事項

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・ 雉子野橋架替工事において、総合評価落札方式による一般競争入札を実施した。
- ・ 平成 30・31 年度向けの入札参加資格受付を実施した。

## ■ 評価

・ 総合評価落札方式入札については、地域貢献度や若年技術者の新規雇用や災害対応という点について評価項目を割くという従来型と評価部分の重みをかえた試みができ、今後の評価のあり方の方向性になりうると認識できた。しかしながら、同入札における最低制限価格に適用ができないことが今年度の各地の会計検査で指摘され、制度改善の必要性を認識したため平成 30 年度に改善を行う。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	6
事業名	財産管理事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	庁内管理規則の規定により、本庁舎の使用の規制及び秩序の維持に努め、もって本庁舎における公務の円滑かつ適正な執行を確保する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎消耗品、備品管理</li> <li>・ 庁舎施設、設備等の保守管理</li> <li>・ 公共施設の施設賠償保険、現金動産等の保険加入、適用等の事務</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町有財産の維持管理、売払い</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 庁舎の空調設備は設置後 44 年経過しているため、ファンコイルの不具合等に、部品の調達ができない状況にある。また、国により庁舎の冷凍機に使用しているフロン（R22）の生産削減・全廃が目標とされており、改修を行う必要がある。</li> <li>2 エレベーター設置後 40 年以上経過しており、主要部品の交換時期が近づいているため、改修を行う必要がある。</li> </ol>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 28 年度に設計を行った空調改修について、平成 29 年度、平成 30 年度に分けて施工を行うが、平成 29 年度については庁舎 2 階の町長室、会議室、和室、図書室、電算室及びサーバー室について個別空調の設置工事を行う。</li> <li>2 設置後 44 年が経過し、老朽化したエレベーターの安全を確保するため、籠とレールを除き改修工事を行う。</li> <li>3 断熱と遮光効果、又ガラスの飛散防止をするために、窓ガラスの断熱遮光シート貼付の工事を行う。</li> </ol>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	・ 庁舎 2 階空調設備工事（町長室、会議室、和室、図書室、電算室及びサーバー室）の発注
5	・ エレベーター改修工事の発注
9	・ 窓ガラス断熱遮光シート貼付工事の発注

### □3 年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に空調設備、給排水衛生設備、庁舎外壁塗装等の整備を進める。</li> <li>・平成28年度に空調設備、高架水槽を更新し、空調設備更新業務を行う。</li> </ul>					
項目(単位)	H26実績	H27実績	H28計画	H29目標	H30目標	H31目標
空調設備改修		実施	実施 計画 (庁舎全体)	実施	実施	
エレベーター改修工事				実施		
断熱遮光シート貼付工事				実施		
高架水槽改修			実施			
庁舎外壁塗装					計画	実施
給排水衛生設備改修					計画	実施

### □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備工事を実施する。</li> <li>・庁舎全体の給排水衛生設備更新、外壁塗装設計業務委託を発注する。</li> </ul>
H31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給排水衛生設備、外壁塗装工事を実施する。</li> </ul>

### ■事業コスト

		単位	H27年度決算額	H28年度当初予算額	H29年度計画額
事業費		千円	93,946	50,504	56,388
(内特定財源)		千円	47,710	1,173	1,159
人工	職員	人工	0.5	0.5	1.0
	臨時職員	人工	0	0.2	0.1
	計	人工	0.5	0.7	1.1

### ■平成29年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	158	
普通財産貸付収入	805	
用紙等売払収入	20	
古紙等売払収入	40	

公衆電話使用料	5	
電話使用料	2	
自治体案内図広告料収入	129	
合 計	1, 159	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
光熱水費（電気）	7, 681	281	原油価格上昇に伴う燃料調達額の上昇。
庁舎空調設備設計		△2, 000	業務完了のため。
庁舎空調設備工事費	7, 842	増 1, 842	空調設備（副町長、政策推進課、公室、2 階相談室）の空調を更新する。
エレベーター改修工事	4, 905	増 4, 905	エレベーターの改修を行う。
断熱遮光シート貼付工事	2, 661	増 2, 661	窓ガラスに断熱遮光シートの貼り付けを行う。
給水施設改修工事費		△6, 000	工事完了のため。

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

町として、これまで以上に環境に配慮した取り組みを行うため、大口町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を見直した。これに基づいて、二酸化炭素排出量の削減が見込まれる高効率の空調機器等を、庁舎その他の公共施設に導入するための準備を行った。

エレベーターの改修工事を予定通り実施した。

職員組合から要望のあった断熱・遮光シートの貼り付け工事について、比較的容易なところを職員組合と協働で実施し、作業に危険が伴う等専門的な技術が必要なところを町内企業に発注し、それ以外をワークセンターに発注して実施した。

Pタイルが破損するたびに貼り替えるものの、見た目の傷み具合が進んでいた庁舎 2 階廊下、階段について、長尺シートに貼り替えて修繕した。

非常時の明かりを確保するため、庁舎北側の照明増設、食堂前渡り廊下照明の LED 化を行い、宿直室照明及びコンセントと併せて非常用電源に接続した。

## ■評価

全町挙げて二酸化炭素削減に取り組むべく、計画の見直しと高効率機器の導入計画を作成したことは評価できる。

断熱・遮光シートの貼り付けを、町・職員組合・ワークセンターの 3 者で実施できたことは良かった。

庁舎北側照明及び宿直室を非常用電源に接続したことにより、自家発電に切替わった際の作業効率

が上がり、対応力が向上した。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	6
事業名	財産管理事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	庁内管理規則の規定により、本庁舎の使用の規制及び秩序の維持に努め、もって本庁舎における公務の円滑かつ適正な執行を確保する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎消耗品、備品管理</li> <li>・ 庁舎施設、設備等の保守管理</li> <li>・ 公共施設の施設賠償保険、現金動産等の保険加入、適用等の事務</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町有財産の維持管理、売払い</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 庁舎の空調設備は設置後 44 年経過しているため、ファンコイルの不具合等に、部品の調達ができない状況にある。また、国により庁舎の冷凍機に使用しているフロン（R22）の生産削減・全廃が目標とされており、改修を行う必要がある。</li> <li>2 エレベーター設置後 40 年以上経過しており、主要部品の交換時期が近づいているため、改修を行う必要がある。</li> </ol>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 28 年度に設計を行った空調改修について、平成 29 年度、平成 30 年度に分けて施工を行うが、平成 29 年度については庁舎 2 階の町長室、会議室、和室、図書室、電算室及びサーバー室について個別空調の設置工事を行う。</li> <li>2 設置後 44 年が経過し、老朽化したエレベーターの安全を確保するため、籠とレールを除き改修工事を行う。</li> <li>3 断熱と遮光効果、又ガラスの飛散防止をするために、窓ガラスの断熱遮光シート貼付の工事を行う。</li> </ol>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	・ 庁舎 2 階空調設備工事（町長室、会議室、和室、図書室、電算室及びサーバー室）の発注
5	・ エレベーター改修工事の発注
9	・ 窓ガラス断熱遮光シート貼付工事の発注

### □3 年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に空調設備、給排水衛生設備、庁舎外壁塗装等の整備を進める。</li> <li>・平成28年度に空調設備、高架水槽を更新し、空調設備更新業務を行う。</li> </ul>					
項目(単位)	H26実績	H27実績	H28計画	H29目標	H30目標	H31目標
空調設備改修		実施	実施 計画 (庁舎全体)	実施	実施	
エレベーター改修工事				実施		
断熱遮光シート貼付工事				実施		
高架水槽改修			実施			
庁舎外壁塗装					計画	実施
給排水衛生設備改修					計画	実施

### □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備工事を実施する。</li> <li>・庁舎全体の給排水衛生設備更新、外壁塗装設計業務委託を発注する。</li> </ul>
H31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給排水衛生設備、外壁塗装工事を実施する。</li> </ul>

### ■事業コスト

		単位	H27年度決算額	H28年度当初予算額	H29年度計画額
事業費		千円	93,946	50,504	56,388
(内特定財源)		千円	47,710	1,173	1,159
人工	職員	人工	0.5	0.5	1.0
	臨時職員	人工	0	0.2	0.1
	計	人工	0.5	0.7	1.1

### ■平成29年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	158	
普通財産貸付収入	805	
用紙等売払収入	20	
古紙等売払収入	40	

公衆電話使用料	5	
電話使用料	2	
自治体案内図広告料収入	129	
合 計	1, 159	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
光熱水費（電気）	7, 681	281	原油価格上昇に伴う燃料調達額の上昇。
庁舎空調設備設計		△2, 000	業務完了のため。
庁舎空調設備工事費	7, 842	増 1, 842	空調設備（副町長、政策推進課、公室、2 階相談室）の空調を更新する。
エレベーター改修工事	4, 905	増 4, 905	エレベーターの改修を行う。
断熱遮光シート貼付工事	2, 661	増 2, 661	窓ガラスに断熱遮光シートの貼り付けを行う。
給水施設改修工事費		△6, 000	工事完了のため。

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

町として、これまで以上に環境に配慮した取り組みを行うため、大口町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を見直した。これに基づいて、二酸化炭素排出量の削減が見込まれる高効率の空調機器等を、庁舎その他の公共施設に導入するための準備を行った。

建築後 44 年が経過し老朽化が著しいエレベーター改修工事を実施した。

職員組合から要望のあった断熱・遮光シートの貼り付け工事について、比較的容易なところを職員組合と協働で実施し、作業に危険が伴う等専門的な技術が必要なところを町内企業に発注し、それ以外をワークセンターに発注して実施した。

P タイルが破損するたびに貼り替えるものの、見た目の傷み具合が進んでいた庁舎 2 階廊下、階段について、長尺シートに貼り替えた。

非常時に対応するため、庁舎北側及び食堂前渡り廊下照明の LED 化を実施する一方、宿直室の電気系統も併せて非常用電源に接続した。

## ■評価

計画の改定を進めたことで、国が進める二酸化炭素削減に向けた改修計画の立案できたことは評価できる。

職員組合より複数年にわたって要望のあった断熱・遮光シートの貼り付けについて、町・職員組合・ワークセンターの 3 者でそれぞれ役割分担し実施できたことは良かった。

庁舎北側車庫並びに渡り廊下及び宿直室を非常用電源に接続したことにより、災害時や地震時の対

応が可能になったことは評価できる。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	7
事業名	公用車管理事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	公用車 15 年更新計画に基づき、購入及びリースを計画的に行い、適正な公用車の管理・維持に努め、公務の円滑な執行を確保する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公用車消耗品・備品管理</li> <li>・ 公用車の保守・維持管理</li> <li>・ 公用車の賠償保険、新車の保険加入等の事務</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公用車買い替え事務</li> <li>・ 公用車事故等の対応</li> <li>・ 燃料単価契約事務</li> <li>・ 公用車（1、2号車・バス）運転委託事務</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>単年度の財政負担の軽減を目的に導入したリース車両は、トータルでは支払う金額が割高になり、保有車両の老朽化も進行しているのでリースから購入へ切り替えていく。</p> <p>（リース車両：1号車、ハイエースワゴン、レジアスエースワゴンの3台）</p>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<p>1 プリウス青パト（尾張小牧 502 は 197）の車検が平成 30 年 5 月となっているが、ブレーキの調子が悪いため平成 29 年度に購入する。購入車両はカローラフィールダークラスを想定し、青色回転灯、スピーカー、白黒塗装を予定。</p> <p>2 1号車（クラウン）が平成 29 年 5 月にリース契約終了となるが、更新計画に基づき平成 30 年に新規購入に向けリースを 2 年間延長する。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
5	新規車両発注
9	新規車両納車
11	公用車更新計画の見直し

### □3 年間の目標

目 標	.					
項 目（単位）	H26 実績	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標
公用車買換え時期	エブリィ 2 台購入	ハイゼッ ト・ 軽トラ・ リフト付き トラック購 入	プリウス、 プロボックス スバン（リ ース車）	青パト	1号車・ ハイエース ワゴン（リ ース車）	

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	1号車（クラウン）、ワゴン車（10人乗りハイエース）のリース契約終了に伴い、新規購入する。
H31 年度	

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	14,188	20,747	16,144
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0	0.3	0.3
	計	人工	0.5	0.8	0.8

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金 額	備 考（充当先等）
合 計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
賃借料（自動車）	748	△309	リース車両の減による
公用車購入費	2,560	△4,340	購入車両が、平成28年度に3台だったが、平成29年度は1台となるため。

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- ・ 公用車配車のバランスと集落の狭い道での利用を考慮して、ブレーキが不調であったプリウス青パト（尾張小牧 502 は 197）に代え、ムーヴを購入した。平成 30 年度に全ての公用車にドライブレコーダーを設置するため、先行して併せてドライブレコーダーを購入し設置した。
- ・ 青パトの台数が減少するため、エブリィ 2 を青パト登録して対応した。
- ・ 公用車の事故が多発したため、江南警察署に依頼して安全運転講習会を実施した。

## ■評価

- ・ 安全運転講習会を実施したり、度々注意喚起をしたものの、公用車の事故が続いた 1 年であった。今後もドライブレコーダーの導入等に安堵することなく、公用車の事故防止とその啓発に努めたい。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	7
事業名	公用車管理事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	公用車 15 年更新計画に基づき、購入及びリースを計画的に行い、適正な公用車の管理・維持に努め、公務の円滑な執行を確保する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公用車消耗品・備品管理</li> <li>・ 公用車の保守・維持管理</li> <li>・ 公用車の賠償保険、新車の保険加入等の事務</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公用車買い替え事務</li> <li>・ 公用車事故等の対応</li> <li>・ 燃料単価契約事務</li> <li>・ 公用車（1、2号車・バス）運転委託事務</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>単年度の財政負担の軽減を目的に導入したリース車両は、トータルでは支払う金額が割高になり、保有車両の老朽化も進行しているのでリースから購入へ切り替えていく。</p> <p>（リース車両：1号車、ハイエースワゴン、レジアスエースワゴンの3台）</p>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<p>1 プリウス青パト（尾張小牧 502 は 197）の車検が平成 30 年 5 月となっているが、ブレーキの調子が悪いため平成 29 年度に購入する。購入車両はカローラフィールダークラスを想定し、青色回転灯、スピーカー、白黒塗装を予定。</p> <p>2 1号車（クラウン）が平成 29 年 5 月にリース契約終了となるが、更新計画に基づき平成 30 年に新規購入に向けリースを 2 年間延長する。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
5	新規車両発注
9	新規車両納車
11	公用車更新計画の見直し

### □3 年間の目標

目 標	.					
項 目（単位）	H26 実績	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標
公用車買換え時期	エブリィ2 台購入	ハイゼッ ト・ 軽トラ・ リフト付き トラック購 入	プリウス、 プロボックス スバン（リ ース車）	青パト	1号車・ ハイエース ワゴン（リ ース車）	

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	1号車（クラウン）、ワゴン車（10人乗りハイエース）のリース契約終了に伴い、新規購入する。
H31 年度	

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	14,188	20,747	16,144
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0	0.3	0.3
	計	人工	0.5	0.8	0.8

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金 額	備 考（充当先等）
合 計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目 (科目等)	計画額	増減額	内容
賃借料 (自動車)	748	△309	リース車両の減による
公用車購入費	2,560	△4,340	購入車両が、平成 28 年度に 3 台だったが、平成 29 年度は 1 台となるため。

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- ・公用車の配車バランスを見直した結果、狭い道路でも走行できる軽自動車 (ムーヴ) を、プリウス青パト (尾張小牧 502 は 197) に代え購入した。
- ・また、青パトの車両が減少するため、1BOX の軽自動車 (エブリィ 2) を新たに青パト登録して対応した。
- ・公用車の事故が多発したため、江南警察署に依頼して安全運転講習会を実施した。

## ■評価

- ・安全運転講習会の実施、定期的な注意喚起をしたが、公用車の事故が続いた 1 年であった。今後も公用車の事故がおきないよう啓発に努めていく。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	8
事業名	庁内LANシステム運用事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策	2-1	行政経営
目的	各課の課題への対応、かつ、住民サービス向上のために今日の行政事務に不可欠な要素の一つとして、「情報系」コンピュータ等が設置されている。その電子計算組織（情報処理システム）の円滑な運営及び安定稼働を目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティ対策</li> <li>・情報系システム（グループウェア）運用支援</li> <li>・セキュリティポリシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LGWAN管理</li> <li>・LGWAN利用系とインターネット接続系の適正な運用管理</li> <li>・情報系システムの機器保守</li> <li>・セキュリティ監査・監視</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 番号制度の本格運用に向けて情報系ネットワークの強靱化を図った。LGWAN を利用する業務（メール含む）とインターネットを利用する業務（メール含む）とが分離され、セキュリティを確保しながら適正な運用を図る必要がある。</li> <li>2 基幹系専用線（役場－健康文化センター間）の帯域見直し 28年2月から介護保険システムサーバを本町電算室に設置した。帯域1Mでは端末の画面展開に遅延を生じるため、窓口業務等に影響が出ている。</li> <li>3 27年度に更新したファイルサーバを有効利用するため、情報系ネットワーク回線の高速化を図る必要がある。</li> </ol>		
平成29年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいちセキュリティクラウドへ早期に接続する。</li> <li>2 番号法に関する情報連携が開始され、町拠点間（役場－健康文化センター他）の通信増加が予想されることも踏まえて必要な帯域を確保していく。</li> <li>3 拠点間の通信を経由しても遅延が起こらないような帯域を確保していく。</li> </ol>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
5	あいちセキュリティクラウド接続 基幹系帯域切替（増速）
7	番号法 情報連携開始 情報系回線切替（増速）

### □3 年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルサーバ機器更新</li> <li>・番号制度に伴うネットワークの見直し</li> <li>・情報系ネットワーク強靱化、インターネット分離</li> </ul>					
	項 目 (単位)	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標
ファイルサーバ機器更新		機器更新				
番号制度に伴うネットワークの見直し		設定変更	テスト実施	本稼働		
情報系ネットワーク強靱化、インターネット分離			計画策定 分離実施			
情報系ドメインサーバ・パソコン更新					機器更新	
グループウェア更新					更新	

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	情報系ドメイン配下のサーバ・パソコン更新、グループウェアサーバ更新、複合機管理サーバ更新
H31 年度	

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	12,305	12,821	18,130
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.4	0.5	0.4
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.4	0.5	0.4

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金 額	備 考 (充当先等)
合 計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目 (科目等)	計画額	増減額	内容
通信回線	3,677	784	基幹系及び情報系ネットワーク回線の増速見直し等のため増額。
(保守点検委託料) 電子計算機器	7,209	1,987	強化対策で導入した通信機器及びインターネット利用系機器並びに保育園用に追加した端末の保守分増加
情報系システム機器設定等 委託料	4,412	2,500	あいちセキュリティクラウド接続に係る設定委託、情報系通信回線設定変更委託
庁用備品購入費	432	△2,171	子育て世代包括支援センター用PC追加
(負担金) あいち情報セキュリティクラウド	2,209	2,209	新たにあいち情報セキュリティクラウドの利用を開始する必要があるため

## ■特記事項

情報系ネットワークを LGWAN 系とインターネット系に分離する「情報セキュリティ強化対策」を平成 28 年度実施した。引き続きの対応として、本年度「あいちセキュリティクラウド」に接続する。このことにより、インターネットへの接続回線が県内で集約され、より高度なセキュリティが確保されることとなる。

## ■目標又は改善策に対する取組内容

あいちセキュリティクラウドに 4 月中に接続した。ファイル無害化機能については、「あいちセキュリティクラウド」の機能を利用していたが、事務が煩雑になったことと、手作業による対応漏れが散見されたため、無害化機能の導入を補正予算対応により実施した。

## ■評価

無害化機能の導入により、分離していたメール環境が統合され、また、インターネットからのファイル取得が簡素化される等、事務効率の向上に繋がった。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	9
事業名	電子計算運用事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策	2-1	行政経営
目的	住民のサービス提供のために今日の行政事務に不可欠な要素の一つである、情報網で接続された電子計算機器からなる基幹系電子計算組織（情報処理システム）の円滑な運営及び安定稼働を目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合住民情報システムの安定</li> <li>・ 法令改正等によるシステム改修</li> <li>・ 機器、システムの保守</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不正アクセスの監視</li> <li>・ 大口町データ管理委員会</li> <li>・ 大口町電子計算機運営委員会</li> </ul>
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 番号制度がスタートし、29年7月の情報連携開始に向けた各業務の最終接続試験等が必要となる。</li> <li>2 国民健康保険の広域化にともないシステム改修が必要となる。</li> <li>3 サーバ室の指紋認証機器が導入後約12年を経過しており、保守部品が枯渇した状況にある。</li> <li>4 総合住民情報システム用端末パソコンが未だ対応していないJIS2004へ、30年度の更新を機に対応する必要がある。</li> </ol>		
平成29年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会保障と税番号制度については、詳細が明確になっていない部分が多い。そのため、情報が発信される都度、計画や対応策を見直す必要がある。制度が広範囲に渡るため関係各課及びシステム改修業者と連携を取りながら対応する。（子育てワンストップサービスへの対応を含む）</li> <li>2 サーバ室の指紋認証機器の更新を行う。（27年度管理ソフトウェアを更新しているので、認証機器の入替での対応を検討する。）</li> <li>3 30年度の総合住民情報システム更新に向け準備を行う。</li> </ol>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容	
随時	【社会保障・税番号制度】 システム改修業者との打合せ	適宜 国民健康保険広域化に向けたシステム改修対応
4	システム改修業者との契約	
6	総合運用試験（最終確認）	
7	情報連携開始	

### □3 年間の目標

目標	・ 社会保障・ 税番号制度への対応					
項目(単位)	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標
社会保障・ 税番号制度	情報連携に向けたシステム改修、接続試験	情報連携に向けたシステム改修、接続試験	市町村間の情報連携開始	厚労省部門での情報連携	情報連携等の安定運用	情報連携等の安定運用
国民健康保険広域化対応	計画システム改修	計画システム改修	システム改修資格者情報等提供	新制度運用開始		
総合住民情報システム更新			更新準備	更新		
サーバ室の指紋認証器更新		計画	更新			

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	国民健康保険広域化 開始 総合住民情報システム 更新
H31 年度	

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	124,362	111,899	123,873
(内特定財源)		千円	0	16,932	0
人工	職員	人工	0.6	0.5	0.6
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.6	0.5	0.6

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目 (科目等)	計画額	増減額	内容
電子計算機器 (保守点検委託料)	8,076	△320	高速ページプリンタの更新により保守料が減額した。
電算システム開発委託料	78,511	25,655	住民記録等の旧姓併記対応、Gcoas 更新委託(繰越)のため増額。
システム機器設定等委託料	972	△5,757	入退室管理システム機器(現指紋認証器)更新に係る設定委託を行うため。
使用料	864	26	ウイルス対策ソフトライセンス増加のため
LGWAN-ASP 利用料	1,000	1,000	情報系ネットワークが LGWAN のみとなり、インターネットから利用できなくなった WindowsUpdate 等を利用するため。
賃借料	102	△217	高速ページプリンタ更新のため旧機種 of 賃借料が不要となった。
庁用備品購入費	3,735	△9,529	入退室管理システム機器(現指紋認証器)更新のため。
負担金	5,288	943	あいち電子自治体推進協議会での電子入札関連システムの更新のため負担金が増額となった。

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- 1 社会保障と税番号制度について、情報連携の試行運用期間中に発覚した問題などについて、国からの情報収集に努め、適切に対応することができた。子育てワンストップサービスについては、平成 29 年中に運用開始することができた。
- 2 サーバ室の指紋認証機器について、滞りなく更新することができた。
- 3 総合住民情報システムの更新について準備が整ったため、30 年度に繰越して実施するよう当該事業に着手した。

## ■評価

社会保障と税番号制度の情報連携について、主に福祉部門の窓口担当と協力し、全ての対応業務について施行期間中に情報照会することができた。

子育てワンストップサービスについて、事務の窓口である福祉こども課・健康生きがい課と協力して早期に運用開始することができた点が良かった。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	10
事業名	選挙管理委員会事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	選挙制度の啓発と選挙事務の適正執行を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選挙管理委員会開催</li> <li>・ 選挙啓発</li> <li>・ 選挙人名簿定時登録事務</li> <li>・ 在外選挙人登録事務</li> </ul>		
現在における 経過又は課題	<p>各選挙において、投票率の低下がみられる。 また、公職選挙法の改正に伴い、平成 28 年 7 月から選挙権年齢が 18 歳に引き下げられたことから、啓発事業の拡充が必要である。</p>		
平成 29 年度 の目標又は 改善策	<p>平成 29 年度に予定されている町長選挙に向けて、投票率を向上させるための常時啓発に努めるとともに、県の啓発事業（選挙出前トーク等）との連携を図る。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4～	選挙啓発
5	明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集（小中学校）
6	選挙人名簿定時登録
9	選挙人名簿定時登録 裁判員候補者予定者及び検察審査員候補者予定者の選定
12	選挙人名簿定時登録
1	新成人への選挙啓発パンフ等の配付
3	選挙人名簿定時登録

### □3 年間の目標

目標	.					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	396	520	518
（内特定財源）		千円	2	2	2
人工	職員	人工	0.5	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.5	0.3	0.3

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
在外選挙人名簿登録事務費委託金	2	
合計	2	

### ■平成 29 年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

## ■ 特記事項

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

若年層に向けた選挙啓発の一環として丹羽高校で実施された選挙出前トークに参加した。  
若年層に向けた選挙啓発を図り、新成人向けの選挙啓発パンフレットを成人式で配布した。また、  
明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集（小中学校）を実施した。応募点数は、中学校 10 点、  
小学校 7 点であった。

## ■ 評価

選挙年齢が 18 歳に引き下げられ、引き続き投票率向上に向けた啓発に取り組む必要がある。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	11
事業名	各選挙事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	各選挙を滞りなく適正に執行する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口町長選挙 (H29. 10)</li> <li>※大口町議会議員補欠選挙 (H29. 10)</li> </ul>		
現在における 経過又は課題	<p>選挙の適正執行、選挙経費の縮減、開票時間の短縮。 投票率の低下を防ぐ啓発。 各選挙とも数年に一度であるため、事務の引継ぎを的確に行う必要がある。</p>		
平成 29 年度 の目標又は 改善策	<p>平成 28 年度執行の参議院議員通常選挙の反省点等を踏まえ、投票事務の効率化や開票事務の迅速化、執行経費の削減を検討する。 選挙権年齢が 18 歳に引き下げられたことから、その意義を理解し主体的に政治に関わってもらえるよう啓発に努める。</p>		

## ■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
10	<p>大口町長選挙 ※大口町議会議員補欠選挙</p>

### □3 年間の目標

目標	.					
項目(単位)	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	8,590	14,028	12,252
(内特定財源)		千円	210,369	14,028	0
人工	職員	人工	0.8	1.0	1.0
	臨時職員	人工	0	0.3	0.2
	計	人工	0.8	1.3	1.2

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目 (科目等)	計画額	増減額	内容
参議院議員通常選挙	0	△12,878	
昭和用排水土地改良区総代会総代総選挙	0	△570	
入鹿用水土地改良区総代会総代総選挙	0	△580	
町長選挙	11,720	11,720	
町議会議員補欠選挙	532	532	

## ■特記事項

衆議院の解散があり、本町の選挙と同日執行となった。

## ■目標又は改善策に対する取組内容

町長選挙・町議会議員補欠選挙については、早めに準備に取り掛かることで、立候補予定者向けの説明を十分に行うことができた。

衆議院が解散し総選挙が同日執行となった。急激に事務量が増えたものの、選挙公報配布を委託に切替える等、適宜事務を見直しながら対応した。

## ■評価

町長選挙・町議会議員補欠選挙に加え衆議院議員総選挙が同日執行になり、また、台風が直撃する等、前例のない事ばかりであった。問題に気が付くたびに課内で協議を重ね、一つ一つ解決したことが良かった。行政課の職員だけでなく、職員一丸となって対応できたことが良かった。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	12
事業名	統計事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策		
目的	行政活動の基礎データや、社会全体で利用される情報基盤として活用するため、一定の条件のもとに各種の統計調査を実施し、経済の発展や生活の向上に寄与する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計調査員確保対策事業</li> <li>・ 工業統計調査</li> <li>・ 農林業センサス</li> <li>・ 住宅・土地統計調査・</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済センサス調査区管理・基礎調査</li> <li>・ 商業統計調査</li> <li>・ 国勢調査</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>年々どの統計調査においても、調査対象者からの協力が得難くなってきている。また、協力が得られた場合においても、記入が不十分であることが多々見受けられ、職員の事務負担が多くなっている。</p> <p>また、統計調査では、調査の第一線で調査票の配布・回収及びその点検・整理を行う統計調査員が不可欠であり、その人材確保が課題となっている。</p>		
平成 29 年度の目標又は改善策	<p>平成 29 年度は、工業統計調査及び就業構造基本調査の 2 つの基幹統計調査を実施する。ホームページやチラシ等を通じて調査への理解・協力が得られるよう努めるほか、調査員が、調査の趣旨及び調査項目への理解を深め調査活動を円滑に進められるよう、調査説明会や調査対象への啓発等、フォローアップを行う。また、身に着けた知識や経験を今後も統計調査員として発揮し続けてもらえるよう登録への働きかけを行う。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4～	統計調査員確保対策事務 工業統計調査（6月） 就業構造基本調査（10月） 土地統計調査調査区設定
随時	経済センサス調査区管理

### □3 年間の目標

目標	.					
項目(単位)	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	7,365	968	624
(内特定財源)		千円	7,321	949	606
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0	0.3	0.1
	計	人工	0.5	0.5	0.6

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
工業統計調査事務市町村交付金	280	
就業構造基本調査事務市町村交付金	206	
住宅・土地統計調査事務市町村交付金	103	
商業統計調査事務市町村交付金	13	
統計調査員確保対策事業市町村交付金	4	
合計	606	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目 (科目等)	計画額	増減額	内容
経済センサス-活動調査	0	△945	平成 28 年度に実施

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

工業統計調査及び就業構造基本調査について、滞りなく適切に実施することができた。また、平成 30 年住宅・土地統計に向けて、住宅・土地統計単位区設定を滞りなく実施することができた。

## ■評価

住民の協力が必要不可欠な調査について、掲示板へのポスター掲示に留まらず、区を通じた回覧板、ホームページ、お知らせハガキ等を通じて、調査員が円滑に調査できる環境を整えることができた。また、広報誌等を含めてオンライン調査について周知を図り、就業構造基本調査においては約半数のオンライン回答率を得ることができた。調査員確保に関しては、長年調査員として尽力された方を推薦し、厚生労働省から感謝状の交付を受けることができた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	行政課	No.	13
事業名	土地取得特別会計事業		
総合計画の体系	基本目標	5	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	基本施策		
目的	町の土地取得事業を円滑に行うため、用地先行取得事業にかかる歳入歳出の経理を行う。		
事務内容	・(用地先行取得費) 用地を先行取得するために、土地開発基金から貸し付けを受け、用地を取得するもの。		・(土地開発基金繰出金) 土地開発基金の預金利子収入を同基金に積み立てするもの。
現在における経過又は課題	町道小口線並びに役場前線については、現在の未整備区間が、小口線＝918m(県道小口岩倉線～町道大口桃花台線)、役場前線＝276m(役場以東～小口線との交差点)ある。この路線の早期供用に向け、必要な用地を確保する必要がある。 平成25年度に北保育園建設に伴い購入した用地(下山伏92番1始め11筆 595㎡)を、平成27、28年度は北保育園建設の仮設事務所として利用したが、この用地の活用方法を検討していく必要がある。		
平成29年度の目標又は改善策	町道小口線並びに役場前線については、地元地権者等への理解を図り、引き続き用地の確保に努める。特に、町道役場前線を優先し、平成28年度に一部、供用開始に向け整備したが、用地については引き続き先行取得を行うとともに、町道小口線についても順次進めていく。 下山伏の用地については、県道斉藤羽黒線の拡幅計画工事による代替地、国土調査等を勘案しながら、売払いを進めていく。		

## ■作業工程(当該年度)

月	作業内容
随時	役場前線用地を一般会計での買い戻し、整備する。 地権者との交渉が成立した段階で、小口線並びに役場前線用地を先行取得する。 また、土地開発基金の運用益を同基金に積み立てする。

### □3 年間の目標（小口・役場前線）

目標	・この道路の必要性を地権者等にご理解していただき、事業に係る用地についての同意を得て、必要用地の先行取得を行う。					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標
関係地権者累計用地取得割合（30）（%）	20	20	25	34	48	100
町道小口線（22）	0.4	0.4	7	22	55	100
町道役場前線（8）	90	90	90	100	100	100

### □2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・用地交渉
H31 年度	・用地交渉

### ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	47,460	40,914	47,983
（内特定財源）		千円	47,460	40,914	47,983
人工	職員	人工	0.1	0.1	0.1
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.1	0.1	0.1

### ■平成 29 年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
土地開発基金借入金	30,017	
土地売払入	17,946	
土地開発基金預金利子収入	20	
合計	47,983	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目 (科目等)	計画額	増減額	内容
用地先行取得費	23,404	7,254	小口線用地取得のため

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- ・町道役場前線及び町道小口線用地の先行取得を行った。
- ・県道斉藤羽黒線の拡幅計画工事による代替地として、下山伏の用地について購入の希望があったため売払いの交渉を行ったが、相手側の諸事情により売払い希望が取下げられたため、売払いに至らなかった。

## ■評価

- ・町道役場前線用地 151.71㎡及び町道小口線用地 589.28㎡を先行取得することができた。